



★ 10.8 サシゴバ 酒谷川上流に ヤマメを放流

日南市の日南広渡川漁協（戸高博組合長）は、市内を流れる広渡、酒谷川の上流にヤマメ8500匹をこのほど放流した。写真。

が約15年前から毎年実施。この日は、体長8〜9センチの稚魚を、手分けして計4カ所に放流した。

このうち、同市北郷町の広渡川上流では組合員らが稚魚を次々に放した。車載したタンクからバケツに移して次々と放たれた稚魚は、降雨の影響で増水した川の中を元気に泳いでいった。このほか、酒谷川では酒谷タムの上流に1500匹、下流に2千匹をそれぞれ放した。

ヤマメの漁期は3〜9月。今回放流した稚魚は1年後、体長20センチ以上に成長するという。



◎ 10.9 みなみ風 「大きく育て」 ウナギを放流

国富漁業協同組合（久保作夫組合長）は、森永小（鈴木光校長、138人）の4年生を招いてウナギの放流会をこのほど開いた。写真。

河川環境を守る心を養ってもらおうと実施。久保組合長が「シラスウナギが最近捕れない。こみの投げ捨てをせず、自然を大切に」と呼び掛けた。河川敷に移動した児童は歓声を上げながら川に入り、用意された約200匹のウナギを放流。児童らは興味

深そうに観察していた。武田英利さん（9）は「ぬるぬるしてつかみにくかった。きれいな川で大きく育てほしい」と話していた。